



須藤 安通 議員 (自民)

中小企業の振興について

①区内の中小企業の人材確保のためにどのような方策を考えているのか、所見を伺う。②商店街など地域の振興の方策として、文化、芸術、スポーツ、福祉という新しい切り口からの展開が求められているが所見は。③中小企業センターの一階ロビー等を民間の方々の英知も入れて、センターのPRをする場として工夫しては。

①区内の中小企業の人材確保のためにどのような方策を考えているのか、所見を伺う。②商店街など地域の振興の方策として、文化、芸術、スポーツ、福祉という新しい切り口からの展開が求められているが所見は。③中小企業センターの一階ロビー等を民間の方々の英知も入れて、センターのPRをする場として工夫しては。

認知症予防について

①変性性認知症の初期に見られる記憶障害と見当識障害の症状をつかむ方策をつくり、軽度認知障害のうちにしかるべき処置を施す仕組みづくりが必要だと考えるが、いかがか。

①変性性認知症の初期に見られる記憶障害と見当識障害の症状をつかむ方策をつくり、軽度認知障害のうちにしかるべき処置を施す仕組みづくりが必要だと考えるが、いかがか。

発達障害児の療育支援体制について

①4歳半あるいは5歳児健診を行い、親御さんの不安を取り除く施策が必要だと考えるがいかがか。②早期発見された児童の療育を行っている品川児童学園が、関係機関と連携がとれるような仕組みを構築してはどうか。

①4歳半あるいは5歳児健診を行い、親御さんの不安を取り除く施策が必要だと考えるがいかがか。②早期発見された児童の療育を行っている品川児童学園が、関係機関と連携がとれるような仕組みを構築してはどうか。

「健康心」への取り組みについて

①私たちが日常安穏な生活を送れるよう、社会的ストレスを除去するための施策は。②健診受診率を向上させるために、どのような施策を講じているのか。③体力の低下が

①私たちが日常安穏な生活を送れるよう、社会的ストレスを除去するための施策は。②健診受診率を向上させるために、どのような施策を講じているのか。③体力の低下が



若林 広毅 議員 (公明)

高齢者など「孤独死」への対策について

報告されている成長期の子どもの健康増進への取り組みは。④高齢者の就労や趣味を持続させるための取り組みは。児童保健事業部長 ①ストレス解消法などをテーマとした健康学習などを実施している。②健診該当者への受診券の送付や、未受診者に対し個別に受診を促していく。③学校で日常的に外遊びを取り入れ、基本的な生活習慣についての指導・啓発に努めるなど。④「サポシながわ」などで多様な就労の機会を提供している。趣味に対しては、シルバー大学で豊富なメニューを提供しているなどだ。

①ひとり暮らしの高齢者などが、だれにもみとられず死亡する孤独死に対する認識は。②ひとり暮らしの高齢者の実態の把握と分析について考えは。③区には、さまざまな方面からひとり暮らしの高齢者を見守る事業の積み重ねがあるが、孤独死ゼロに向けた今後の取り組みは。

不慮の事故から子どもを守る

①区内の子どもの不慮の事故についての把握をしているのか。②不慮の事故に関する学習体験などができる施設の設置を提案する。③親子が集う場を活用し、保護者の意識の向上に努めては。④幼稚園や保育園での事故防止対策について⑤散歩などのルート設定などは。⑥保育課と各施設等との連携は。⑦私立園との情報の共有は。

使いやすい品川区ホームページへの取り組みについて

①使いやすい品川区ホームページへの取り組みは。②視覚や肢体に障がいのある方などすべての利用者に丁寧でわかりやすい表現や内容にしては。③必要な情報の検索性が迅速にできる点がかさねるよう改善する。④情報を必要とする相手の身になった説明や表現に努める。

大井町駅東口改札口営業時間延長に関する請願
1 平成19年3月2日、JR大井町駅から駅東口の6時〜終電までの営業時間を7時〜21時まで変更する旨の連絡があった。その際、JRに対して商店街等へ十分に説明するように求めた。
2 4月1日の営業時間変更以降も、商店街等は駅に変更撤回の要請を行ってきた。
3 6月11日、商店街等から要望を受け、区がJRに説明するよう要請した。
4 6月29日、商店街等がJRに対し、営業時間の延長を陳情。
5 7月15日、立会町会会長他5名から区に「大井町駅東口改札口営業時間延長に関する陳情」が提出される。
6 8月6日、区はこの陳情を受け、文書により営業時間の変更について善処されるよう強く要請した。
7 8月20日、7月15日付けの陳情に対し、区がJRに強く要請したことを陳情者へ回答した。
8 11月6日、8月6日付けの要請に対する回答が地元からの要望に応えなかった内容でないこと、また請願が採択されたことを受けて再度要請文書を提出した。

安心・安全で、ユニバーサルなまちづくりについて

①視覚障害者誘導用道路横断帯の導入の検討に着手しては。②橋の交通安全対策の現状と今後の取り組みは。③信号機の設置の必要性などについて伺う。④新しいまちづく

①視覚障害者誘導用道路横断帯の導入の検討に着手しては。②橋の交通安全対策の現状と今後の取り組みは。③信号機の設置の必要性などについて伺う。④新しいまちづく

JR大崎短絡線について

①平面交差の変更についての区への説明は。②補助163号線の盤下げの許可申請に対する対応と考える方。まちづくり事業部長 ①地域の方々と同様の昨年11月だ。②法に適合するなどの場合は許可することとなるが、住民の理解と協力を得るようJRに強く指導する。